

# 市議会 9月定例会

## 行政報告

市議会九月定例会が九月一日に招集され、小畑市長が行政報告を行いました。その中から、主なものの要旨をお伝えします。

### 東京便1日2往復運航実現

#### ―あきた北空港の利用促進―

これまで要望活動を展開してきました東京便一日二往復運航が実現することになりました。観光、ビジネス、産業などに空港の利便性がいよいよ発揮されることになり、圏域の活性化に大きく貢献するものと大変喜んでいきます。



最終的には東京便一日三往復運航の実現を目指しており、そのためには冬期の搭乗率を上げることが必要不可欠の条件です。このことから、冬期の利用促進に力を尽くしていきたいと考えています。また、冬期間のアクセスの確保も極めて重要であることから、その整備についても関係機関にお願いしているところです。

圏域の熱意を搭乗率の向上に結びつける趣旨で六月から取り組んでおります「フライト預金Ⅱ」も順調に経過しており、約十一万口、預金額にして三十三億円余りとなっております。この熱意が、あきた北空港全便の搭乗率を大きく引き上げてくれることを期待し、各旅行代理店などに対し、気軽に楽しく飛行機を利用できる旅行企画の開発を要請してまいりますので、皆さんには今後ともご支援をお願いいたします。

### 土壌洗浄法による資源回収事業

花岡鉱業松峰選鉱所での土壌洗浄法による資源回収事業は、七月二十四日から始まっており、月中には処理を終えて、事業が終了する予定になっています。

この事業の安全確保と環境保全のため、市、環境庁、秋田県、事業者のそれぞれが、独自に環境モニタリングを事業開始前から実施しており、これまでの測定分析結果では、いずれも基準値以下となっています。

鉱山の最先端技術を生かした環境リサイクル産業は、本市における雇用拡大や地域の活性化に大きく寄与するものと考えています。今後とも大館市環境保全条例に基づき、安全対策と環境保全対策を万全かつ最優先とするよう事業者に求めていきます。

### 西暦二〇〇〇年問題 対策本部を設置

本市におけるコンピューター等の西暦二〇〇〇年問題に的確に対応するため「大館市西暦二〇〇〇年問題対策本部」を設置しました。対象をコンピューター問題にとどめることなく、市民生活や企業



活動に影響を与える事務システム、庁舎や各施設を正常に機能させるための設備機器、上・下水道の設備機器、市立総合病院や休日夜間急患センターの医療機器など、市民生活に重大な影響を及ぼす約六十のシステムなどについて総点検を実施しながら対策を講じていきます。

特に、行政事務執行の基幹となつている汎用コンピューターと財務会計システムについては、模擬テストを実施するなど、市民生活に影響を与えないよう万全の体制を整えたいと思います。